

# 平成27年度病害虫発生予報第6号

平成27年 9月 1日  
愛 知 県

## 普通作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イネ	いもち病 (穂いもち)	やや少ない	県全域	8月下旬の早期栽培での発生量は は平年並 主要品種は穂いもちに強い 9月の降水量はほぼ平年並	± - ±
	紋枯病	やや多い	県全域	8月下旬の発生量はやや多い 9月の降水量はほぼ平年並	+ ±
	トビイロウンカ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	ツマグロヨコバイ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	-
	コブノメイガ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は一部で多い	± +
	フタオビコヤガ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	-
	斑点米カメムシ類	多い	県全域	8月下旬の発生量は多い	+
ダイズ	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや少ない	± -
	オオタバコガ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±

### ・防除対策

#### 〔イネ・紋枯病〕

病斑が上位葉に伸展する前に、モンカット粒剤、オリブライト250G、モンガリット粒剤などで防除しましょう。

#### 〔イネ・斑点米カメムシ類〕

トレボン乳剤、キラップフロアブル、キラップ粒剤、スタークル／アルバリン顆粒水溶剤、スタークル／アルバリン粒剤、スタークル豆つぶなどで防除しましょう。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ウンシュウミカン	黒点病	やや少ない	県全域	8月の枯れ枝上の孢子形成量は少ない 8月下旬の発生量はやや少ない 8月下旬の降水量は多い 9月の降水量はほぼ平年並	－ － ＋ ±
	ミカンハダニ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は平年並	± ±
	チャノキイロ アザミウマ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	± ±
モモ	せん孔細菌病	多い	県全域	8月下旬の発生量は多い 8月下旬の降水量は多い 9月の降水量はほぼ平年並	＋ ＋ ±
	モモハモグリガ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない	－ －
ブドウ	べと病	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 8月下旬の降水量は多い 9月の降水量はほぼ平年並	± ＋ ±
カキ	炭疽病	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 8月下旬の降水量は多い 9月の降水量はほぼ平年並	± ＋ ±
	うどんこ病	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	－
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯における誘殺数は平年並 ヒノキの球果量はやや多い 8月中旬のヒノキ球果口針鞘数調査では、9月上旬から離脱を始め、下旬以降に多くなると予測	± ＋ ＋

### ・防除対策

#### 〔モモ・せん孔細菌病〕

本日発表の「モモせん孔細菌病とナシ黒星病の防除情報」を参照してください。

#### 〔ブドウ・べと病〕

降雨が続くと急速に蔓延するおそれがあります。発生を確認したら、早期落葉を防ぐためICボルドー48Qなどで防除しましょう。

#### 〔カキ・炭疽病〕

トップジンM水和剤やナリアWDGなどで防除しましょう。

## 〔果樹共通・カメムシ類〕

本日発表の「果樹カメムシ類情報第3号」を参照してください。

### ・留意事項

ウンシュウミカンでは、チャノキイロアザミウマの発生量が多いほ場があります。チャノキイロアザミウマ第7世代成虫の発生ピークは、名古屋9月16日、大府9月20日、豊田9月22日、愛西、蒲郡及び伊良湖9月23日、南知多及び岡崎9月25日、豊橋9月28日、新城10月2日、稲武における第5世代成虫の発生ピークは、9月14日と予測します（8月31日までの実測値で計算）。発生ピーク予測を参考にして防除しましょう。

ナシでは、フェロモントラップにおけるナシヒメシクイの誘殺数が、安城市及び豊橋市で急増しました。成虫発生ピークの7日から10日後に防除しましょう。うどんこ病の発生量が多いほ場では、早期落葉を防ぐために防除しましょう。

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	黒腐病	やや多い	県全域	前年秋の発生量が多い 8月下旬の降水量は多い 9月の降水量はほぼ平年並	＋ ＋ ±
キャベツ ハクサイ ダイコン	コナガ	やや多い	県全域	8月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺は平年並	＋ ±
	ハイマダラノ メイガ	平年並	県全域	8月の気温は平年並 9月の気温は平年並	± ±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない 9月の気温は平年並	－ ±
	オオタバコガ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温は平年並	± ±

### ・防除対策

#### 〔キャベツ・黒腐病〕

カセット水和剤やバリダシン液剤5などで防除しましょう。銅水和剤を用いる場合、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

#### 〔キャベツ・コナガ〕

キャベツでは、コナガによる食害を多くの育苗ほ場で認めており、すでに本ほでも発生を確認しています。アニキ乳剤、ディアナSCなどで防除しましょう。なお、コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避けましょう。

### ・留意事項

キャベツでは、東三河地域に設置したフェロモントラップでシロイチモジヨトウの誘殺

数が急増しました。また、キャベツほ場でも8月下旬に幼虫の発生を確認しています。ほ場での発生に注意し、適切に防除しましょう。

トマトやミニトマトでは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除を徹底しましょう。アニキ乳剤、コルト顆粒水和剤などで防除するとともに、感染株は発見次第抜き取り、適切に処分しましょう。

## 花き

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キク (露地)	アブラムシ類	やや多い	県全域	8月下旬の発生量はやや多い 9月の気温は平年並	＋ ±
	ハダニ類	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は平年並	± ±
	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない 9月の気温は平年並	－ ±
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 9月の気温は平年並	＋ ±

### ・防除対策

[キク (露地) ・アブラムシ類]

アドマイヤーフロアブル、ウララ50DFなどで防除しましょう。

[キク (露地) ・オオタバコガ]

本日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参照してください。

### ・留意事項

ハダニ類が多発しているほ場があります。発生状況を確認し、発生ほ場では、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行いましょう。

### 参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方気象台8月27日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並の確率50%です。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率とも40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気温] 低い : 20% 平年並 : 50% 高い : 30%

[降水量] 少ない : 30% 平年並 : 30% 多い : 40%

[日照時間] 少ない : 40% 平年並 : 30% 多い : 30%